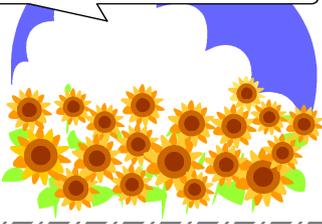


長かった梅雨が明けそうです
安心安全に夏をお過ごしください



ひ：人や生き物、持ち物を大切にし
が：頑張り（目標に向かって）
し：幸せになる野市東小

香南市立野市東小学校

所在地 香南市野市町中ノ村770

電話 0887-54-2622

魅力ある学校生活アンケート等から

1学期末に、全校児童対象に魅力ある学校生活アンケートと道徳意識調査を実施しました。学校評価等の指標にもなっている主な項目の結果（肯定的回答「そう思う」「少しそう思う」の割合）は、以下のとおりでした。

- 学校が楽しい:93.6%【昨年同時期比+4.6%】
- みんなで何かをするのは楽しい:98.1%【+5.8%】
- 授業に自ら進んで取り組んでいる:92.4%【+1.6%】
- 授業がよく分かる:90.5%【-1.1%】
- 学校の先生は話を聞いてくれる:98.5%【+0.8%】
- 自分にはよいところがあると思う:84.8%【+1.7%】
- 頑張りたいことや目標をもっている:89.5%【-1.4%】
- いじめはどんな理由があってもいけない:98.9%【±0%】
- 学校のきまりを守っている:94.7%【+4.7%】

9項目中6項目で、昨年同期よりも向上していました。下線部の項目は、特に肯定的に回答している子どもが多くいました。とはいえ、学校に行きづらくなっている子どもがいけない訳ではありません。一人一人の子ども特性を理解し、家庭や教育関係機関等とも連携しながら、子どもたちにとって「学びたい学校」、保護者や地域の皆様にとって「応援したい学校」となるよう、2学期も指導と支援にあたりたいと思います。

先週は、雷対応でたまりませんでした

先週は、雷雨等による、引き渡しや学校待機など、保護者の皆様も大変心配されたことだと思います。

これまでと違い、北や東の方から雷雲が近づき、急速に発達するという自然現象が起きていました。

「運動場に落ちた！」と真剣に語る子どももいましたが、野球部さんが2塁ベース付近に土を入れた跡ですので、雷が落ちたわけではありません。しかし、学校付近への落雷もいくつか目撃しました。停電や

電気機器の故障など、被害に遭われたご家庭には、お見舞い申し上げます。

夏休み中も、急激に悪天候となる日があるかもしれません。遠くで雷の音が鳴り出したら、建物の中に入る、すぐに家に帰るなど、お子さんにも声かけをお願いします。

また、県内で川遊び中の痛ましい水難事故も発生しています。川や海、池など、子どもだけで泳ぎに行ったり、遊んだりしないようにお願いします。

※ 裏面も一読ください

子どもたちの学力調査の結果から

1学期初旬に実施した標準学力調査（2年生以上）の結果（正答率）についてお知らせします。全国平均との比較を、「高い」や「低い」で示しています。本校児童は、左のアンケート調査の結果のとおりに進んで学ぶ子がほとんどですので、学年が上がるにつれて着実に学力が向上してきています。少し低い教科については、各学年で課題を把握し、2学期以降の授業改善等を図っていきます。

高い: +5%以上、少し高い: +1~5%未満

同等: ±1%、少し低い: -1~5%

標準 学力 調査 の結果		国語	算数
	2年生	少し低い	同等
	3年生	少し低い	少し低い
	4年生	少し低い	少し高い
	5年生	少し高い	高い
	6年生	高い	高い

中止が決定した行事等について

- 夏休み子ども理科教室（夏休み中）
- 夏休み図書館学校（夏休み中）
- 理科自由研究作品展（2学期）
- 香美・香南市音楽会（2学期）



----- 切り取り -----
※ご意見・ご感想をお願いします。 ()年()組 保護者氏名()

子どもを水の事故から守りましょう!

子どもの水の事故防止の基本は、「大人と一緒に行く」「危ないところに近づかない」「天気や海、川の変化に気をつける」「準備体操をする」ことかと思えます。夏休み中は、監視員やライフセーバーのいるプールや海(川はいません)で、保護者同伴で泳ぐようお願いします。

以下は、参照資料をまとめたものです。ご承知のこととは思いますが一読ください。

<子どもの水の事故を防止するためのポイント>

1. 海

- ①ライフセーバーや監視員等がいるなど適切に安全管理が行われている海水浴場で、指定された遊泳エリア内であることを確認して泳ぎましょう。必要に応じて、ライフジャケットを使用しましょう。遊泳禁止となっている場所では、絶対に泳がないください。
- ②海の状況は、日毎、時間毎に変化します。風の向きや波の高さ、満潮か干潮かをしっかり確かめてから海に入りましょう。大人は、子どもから目を離さずに手の届く範囲で見守りましょう。
- ③離岸流に注意!発生しやすい場所や対処などを知っておきましょう。離岸流とは、沖に向かって発生する強い流れのことです。海水浴場における溺水事故の自然要因の多くが離岸流によるものです。河口付近、堤防沿い等の人工物付近、岩場など離岸流が発生しやすい場所で泳ぐのは止めましょう。
- ④堤防などで釣りをする際にも、海への転落の危険があります。滑りにくく、かかとのある履物を履いていきましょう。ライフジャケットを正しく着用し、堤防の縁からのぞき込まないようにしましょう。立入禁止区域には絶対に入らないでください。

2. 川

- ①川の流れは一見穏やかに見えても、地形などの影響で流れが一定ではないこともあります。事故の多くは穏やかそうな流れで起きています。必ず滑りにくく脱げにくいかかとのある履物を履き、ライフジャケットを着用して近づきましょう。
- ②合流する場所は晴れていても、上流などで雨が降ると、一気に水位が上昇し危険になることがあります。風雨、落雷等の天候不良時や上流で雨が降っているときなど、河川等が増水するおそれが高いときには、川に近づかないようにしましょう。ダムのある川では、事前に放流情報を確認し、サイレンが鳴ったらすぐに離れましょう。

3. 池(ため池)

釣りなどの目的でため池の敷地に入り、誤ってため池に転落して死亡する事故が発生しています。立入禁止となっている場所には絶対に立ち入らないでください。

4. プール

- ①飛び込みやプールサイドからのジャンプは、重大な事故につながります。安全な入り方をしましょう。プールのきまり(禁止事項など)が定められていたら必ず守りましょう。吸い込まれると危険なので、排水口には近づかないようにしましょう。
- ②遊具や台などの下にもぐってはいけません。特に水上設置遊具を利用する際は、係員の指示に従い、適切な遊び方・注意事項・禁止事項を守りましょう。
- ③体調が優れない場合は遊ぶのはやめましょう。小さな子どもは、保護者や監督者が子どもの体調を確認しましょう。

----- 切り取り -----

※ご意見・ご感想をお願いします。 ()年()組 保護者氏名()